

J R 東海労幹関西地「申」第 28 号
2 0 1 7 年 5 月 8 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 大山隆幸 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「新大阪駅で発生したディンプルキー紛失」に関する申し入れ

今年 2 月 21 日、新大阪駅の内勤で使用する新幹線のディンプルキーを紛失していることが発覚した。しかも、何時、紛失したかも確認できず鍵の貴重品管理のあり方と共に重大なセキュリティ上の問題が発生した。

その問題について、4 月 19 日に開催された経営協議会の中で、会社に対し事実の確認と現状について説明を求めると、松本運輸課長が事実を認め、対策は今まで設置されていなかった台帳を設置したとだけ説明を行い、現物はまだ見つかっていないことであった。

ディンプルキーは東海道、山陽、九州新幹線に共通した鍵であり、当たり前だが J R 東海だけの問題ではなく、新幹線の安全に関わる重大な問題である。

松本運輸課長は席上、特に安全に対して問題はないとも回答しているが、このような発言に現れる会社の認識では安全を守れないと考える。

よって、以下のように申し入れるので、早急に協議の場を設定すること。

記

1. 昨年 11 月に新大阪駅で発生したディンプルキーの紛失した事実について、具体的に明らかにすること。
2. 会社がディンプルキーの紛失の事実を確認したのはいつか、明らかにすること。
3. 当日の担当した社員は、管理者（助役）である。その管理者に対する会社の対応を明らかにすること。
4. 「ディンプルキー」と「セキュリティ」に関する会社の認識を明らかにすること。
5. ディンプルキーは J R 東海から J R 西日本、J R 九州の会社で共通して使用しており、1 日も早い鍵の交換が必要であると考え。今日まで放置している理由を明らかにすること。
6. 松本運輸課長による「安全上特に問題ではない」の発言は、新幹線の安全安定輸送を確保していく立場上、極めて不適切な発言であると考え。会社の公式な見解として認めるのか明らかにすること。

7. ディンプルキーの紛失は極めて安全を脅かすコンプライアンスの問題であり、国土交通省への報告が必要であると考えます。会社の見解を明らかにすること。
8. 現物がまだ発見されていないとの松本運輸課長が発言したが事実なのか明らかにすること。

以 上